

5 花づくりのさかんなところ

①鳥取県の花づくりの特色

花をかざることで心にゆとりやゆたかさが生まれます。鳥取市の一家庭あたりの花を買う金額は全国でも上位にあるので、鳥取県民は花が好きであることがわかります。

切り花の一世帯あたり年間購入金額
(全国県庁所在地および政令指定都市別ランキング)



町にある花屋さん

県庁所在地 および政令指定都市	購入金額(円)	全国順位
福島市	14,734	第1位
仙台市	13,665	第2位
和歌山市	12,565	第3位
高松市	12,504	第4位
鳥取市	11,810	第5位
名古屋市	11,620	第6位
盛岡市	11,611	第7位
鹿児島市	11,596	第8位
新潟市	11,224	第9位
山形市	11,201	第10位
全国平均	9,576	—

[2013～2015年平均 / 総務省]

花の消費がふえるにつれて、花づくりもさかんになってきました。鳥取県でも花をつくる農家がふえ、県内をはじめ県外にも出荷しています。花を買う人たちに、鳥取県でつくっている花をよく知ってもらうために、農家の人たちで「とっとりの花」カレンダーをつくっています。

～「とっりの花」カレンダー～

1月
かぼく
花木



2月
洋ラン



3月
チューリップ



4月
春植え花だんなえ



5月
カーネーション



6月
ばら



7月
トルコギキョウ



8月
りんどう



9月
秋植え花だんなえ



10月
ゆり



11月
ストック



12月
きく



鳥取県ではいろいろな花がつくられています。

「北栄町のストック、ゆり、アスター」

「北栄町、大山町、^{ほうき}伯耆町の花だんなえ」

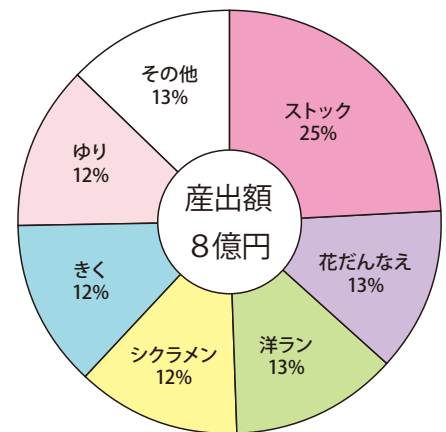
「大山町のばら」

「^{ちづ}智頭町のりんどう」

「^{いんだ}米子市陰田地区のきく」

などは、その中でもとくに有名なものです。

鳥取県は「しば」の生産もさかんで、大山町や琴浦町を中心に、16億円の産出額（2014年）をあげています。



鳥取県の花の産出額

[2013年 / 鳥取県農林水産部]



琴浦町のしば畑

②クローズアップ！花づくり

伯耆町の花だんなえ

鳥取県は西日本有数の花だんなえ産地です。秋に出荷するパンジー、ビオラをはじめ、年間を通してさまざまな花だんなえ用になえがつくられています。伯耆町では1996年（平成8年）ごろから「とっとり花回廊」^{はなかいろう}へ花だんなえを出荷するためにさいばいが始まり、だんだん生産量がふえてきました。今では、^{さんかん}山間部のすずしい気候を生かして品しつ^{しつ}のよいなえがつくられています。



えんどうたつや
遠藤達也さんのほ場

北栄町のストック

北栄町ではハウスを使ったすいかづくりがさかんです。6月にすいかをしゅうかくした後、そのハウスでストックやゆり（シンテッポウユリ）のさいばいを行っています。鳥取県のストックさいばいは全国的にも有名で、県を代表する切り花となりました。



北栄町のストック



北栄町のシンテッポウユリ

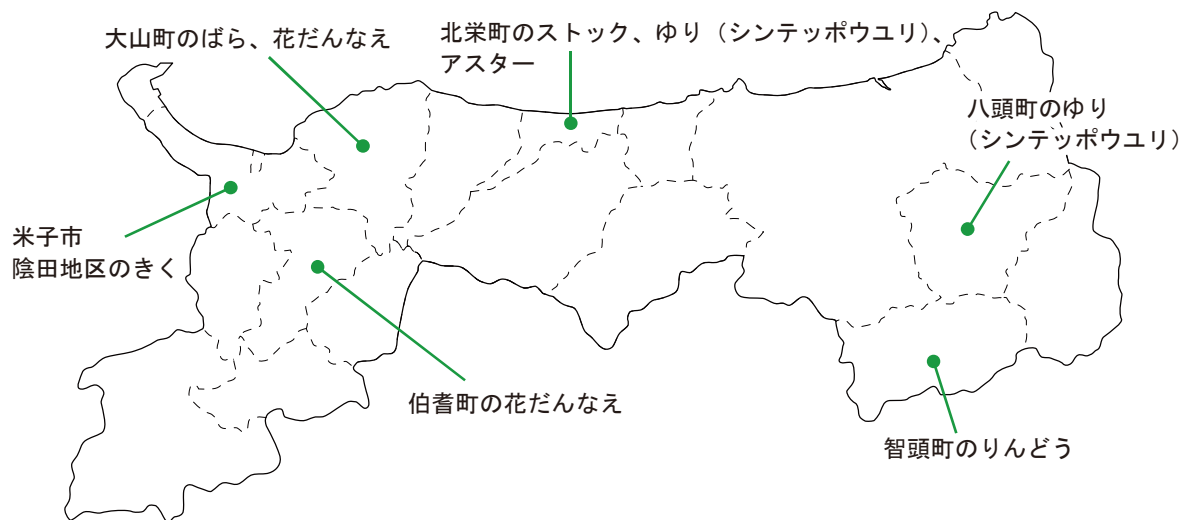
米子市陰田地区のきく

陰田の花づくりは、きくを中心に
40年以上の歴史れきしがあります。



大山町のばら

温室を利用してばらがつくれ、秋
から初夏にかけて出荷されています。



智頭町のりんどう

すずしい気候を利用してさいば
いされています。



八頭町のゆり

八頭町をはじめ水田転作として
県内各地でさいばいされています。

